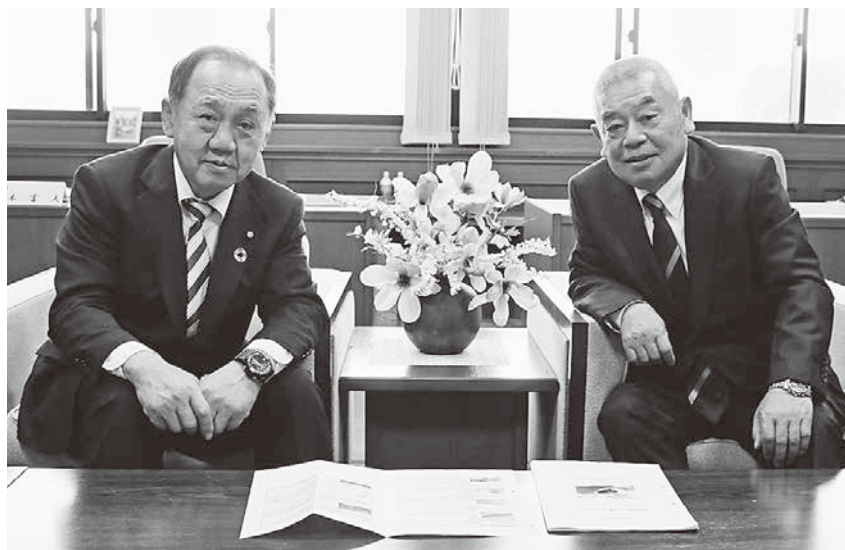


農業委員会だより



丹波篠山市議会 森本富夫議長との対談の様子

※撮影のため、マスクは外しています。



会長就任のあいさつ

丹波篠山市農業委員会
会長 田渕清彦
たぶちきよひこ

このたびの改選により19人の農業委員が任命され、初総会で再び会長に選任されました。会長という重責を仰せつかり大変光栄に思っております。身の引き締まる思いです。また、19人の農地利用最適化推進委員を委嘱し、総勢38人による農業委員会組織の新体制がスタートしました。

2月19日には、わが丹波篠山市は「丹波篠山の黒大豆栽培」ムラが支える優良種子と家族農業」として日本農業遺産に認定され、川北地区や日置地区をはじめ、優良な黒大豆のタネを残してきたことで、今では日本一の品質を誇る黒大豆となりました。これまでの伝統や歴史が次の代にしっかりと引き継がれ、農の都「丹波篠山」の農業がこれからも活性化していくことが期待されます。

本市におきましては、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害などにより、農地利用最適化の推進が重要な課題となっています。これら農業の抱えるさまざまな問題を解決していくためには、地域農業の基盤の確立とそれらを取り巻く環境がしっかり守られ、継続することが重要であり、また農地を守ることが、農業委員会の役割であり今まさにその成果が期待されているところです。

私たち農業委員および農地利用最適化推進委員一同は、日本農業遺産のまち、丹波篠山市の農政・農業推進の一翼を担う者として、本市の農業がこれからますます活性化していくため努力してまいりますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

丹波篠山市農業委員会

☎552-6909 / FAX552-2090
E-mail nogyoin_div@city.sasayama.hyogo.jp



きたむらひろし
北村 弘 (篠山・城北)
新荘94 ☎090-3823-3061



はたよしあき
畑 芳昭 (畑)
大洲124 ☎552-2355



つかもとただひろ
塚本 忠宏 (八上)
小多田1690-1 ☎552-2029



あらやまひろふみ
荒山 浩文 (西紀北)
本郷366-1 ☎592-0630

●農地利用最適化推進委員 (19人)



まさたかずみ
横田 和己 (城北)
鷺尾56 ☎090-8484-6999



(会長職務代理者)
おおいしふみこ
大西 富美子 (畑)
菅111-34 ☎552-4068



まつもとときお
松本 登喜雄 (八上)
京町6 ☎552-2309

●農業委員 (19人)



やまうちたいぞう
山内 泰三 (雲部)
春日江1198 ☎556-2144



くらたかよ
倉 高世 (後川)
後川上444-1 ☎556-2636



はやしゆきお
林 幸雄 (日置)
野々垣73 ☎556-3593



ふしだてつお
伏田 徹夫 (岡野)
西岡屋112 ☎552-1435



あらきまさる
荒木 優 (後川)
後川中391 ☎556-3760



おかよしひろ
岡 義博 (日置)
萱地中1047 ☎556-2220



ばんどうすむ
阪東 進 (岡野)
西浜谷281-1 ☎552-1349

新
農業委員と農地利用最適化
推進委員を紹介します (敬称略)
任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日



おおさかうつみ
大坂 宇津実 (西紀南)
黒田59-1 ☎090-1131-5056



たけけんじ
田口 健治 (大芋)
三熊107-1 ☎558-0561



しんさいひろあき
新才 博章 (村雲)
向井541-1 ☎557-0209



かさいたけお
笠井 健生 (福住)
小野奥谷273 ☎557-1223



きしもとあき
岸本 美明 (大芋)
宮代54 ☎558-0547



あいのかつひろ
粟野 勝浩 (村雲)
細工所156-1 ☎557-0324



のむらしょうじ
野村 昇次 (福住)
箱谷279-1 ☎557-0037



あかいかつのり
赤井 勝則 (雲部)
東本荘379 ☎556-3452



かんなゆたか
河南 寛 (味間)
東古佐202-3 ☎594-1688



たけだとくしげ
竹田 徳成 (大山)
石住87-2 ☎090-4036-0501



はしもととよひこ
橋本 豊彦 (西紀北)
遠方610 ☎592-0263



いまいとしお
井貝 敏夫 (西紀中)
倉本283-1 ☎593-1051



こうせんぼうひろき
高仙坊 博之 (味間)
味間奥991 ☎594-4565



もりもとけいたろう
森本 恵太郎 (大山)
長安寺294 ☎596-0734



かわさきつよし
川崎 剛 (西紀中)
下板井435-2 ☎090-4649-0198



(会長)
たぶちきよひこ
田渕 清彦 (西紀南)
口阪本77 ☎593-0782



ふじもとくにや
藤本国 也 (今田)
黒石722 ☎597-2478



きしひろあき
岸 博明 (今田)
上小野原712 ☎597-3014



なかもとひでよし
中本 日出義 (古市)
当野600 ☎090-1447-9357



さかいかつのり
酒井 克典 (城南)
岩崎449 ☎594-1559



かまいともひろ
構井 友洋 (今田)
加東市平木466 ☎597-2978



(会長職務代理者)
さいまさひろ
酒井 正博 (古市)
初田455 ☎594-0633



あかいともはる
赤井 友晴 (古市)
油井594-2 ☎595-0376



こまえのぼる
小前 登 (城南)
宇士565 ☎594-1394

農業委員と農地利用最適化推進委員の活動

国の制度改正により、「農地法に基づく許認可」のほかに「農地等の利用の最適化の推進」を進めていくことになりました。

「農地等の利用の最適化の推進」のための活動とは

①担い手への農地集積・集約化

②耕作放棄地の発生防止・解消

③新規参入の促進など

を行うことをいいます。

丹波篠山市農業委員会では、農業委員と農地利用最適化推進委員総勢38人が相互に連携を図り、活動を行います。

農業委員と農地利用最適化推進委員の主な役割

【農業委員】

農業委員会は、合議体として最終的な意思決定を行います。

- 権利移動、転用許可申請の許認可審議
- 遊休農地に対する措置
- 農地利用最適化推進指針の作成
- 農地等の利用の最適化の推進のための活動など

連携



【農地利用最適化推進委員】

担当地域において、農地等の利用の最適化の推進のための活動を行います。

農業委員と協力して現地確認を行うほか、農地利用最適化推進指針の作成に参画し、また、必要に応じ、農業委員会の総会などで意見を述べます。

農業者年金に加入して、 安心して豊かな老後を



農業者年金の特徴

1. 農業に従事している方が加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます

2. 終身年金です

終身年金で、80歳までに亡くなった場合は、遺族に死亡一時金が支払われます

3. 税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象になります

4. 少子化が進んでも制度の安定性は損なわれません

自らが積立をした保険料と、農業者年金基金での運用益により年金額が決まります

5. 保険料は自由に選べます

月額2万円から6万7千円の間で決められます